Campus Guide
2023

EPU

EHIME PREFECTURAL UNIVERSITY OF HEALTH SCIENCES

公立大学法人 愛媛県立医療技術大学

保健科学部 看護学科 臨床検査学科 助産学専攻科 大学院保健医療学研究科



羽ばたけ、志ある医療人

大学の特徴 本学は地域の保健医療福祉に貢献できる人材を育成する県立の4年制大学です。

将来“医療のリーダー”となる優秀な人材を育成

●高度な専門教育はもちろん、社会を生き抜く基礎力の育成に力を入れている



看護学科と臨床検査学科が合同で学ぶ

●異なる職種の相互理解を深め、医療人としての基礎をつくる
●臨床検査学科は県内で唯一のコースである



高い国家試験合格率と就職率100%

●毎年全国平均を大きく上回る国家試験合格率を誇る
●多くの求人があり、就職率は毎年100%



県内で唯一、助産学専攻科がある

●卒業後の進学先として、コースの充実した助産師教育課程（1年制）が併設されている





CONTENTS

学長からのメッセージ	03	看護学科	12	キャンパスマップ	26
本学の理念・目的	04	臨床検査学科	16	図書館／地域交流センター	27
技と思考を鍛える／沿革	05	保健医療学研究科（大学院）	20	キャンパスカレンダー	28
保健科学部	06	助産学専攻科	22	サークル紹介／学生食堂	29
この大学を選んだ理由	10	学生支援／授業料	24	入試情報／オープンキャンパス	30
		卒業生の状況	25	アクセス	31

松山市の郊外、「アートの里」砥部町の静かな恵まれた教育環境にあります。4年間で人として豊かに生きる感性を磨きながら、医療の技と思考を鍛えます。

学生一人あたりに対して、教員数が多い

●学生同士も教員とも家庭的な雰囲気で、きめ細やかな指導とサポートを受けることができる



学びに集中できる、住みよい環境

●静かで、春にはみかんの花の香りに包まれる自然豊かな地域にあり、勉学に集中できる
●住民に見守られ、治安も良い



実習先が豊富で、多岐にわたる

●病院だけでなく、保健所や検査機関、福祉施設など、人々の健康と暮らしに関係する多様な場での実習が準備されている



施設が充実し、整備されている

●何度でも自主練習ができる実習室が整っている
●図書館には検査、看護に関する専門書が充実しており、外部からの利用も多い



愛顔（ＳＭＩＬＥ）あふれる大学

学長からのメッセージ

今我が国は、人口減少や高齢化による疾病構造の変化やそれに伴う医療提供体制の変革など私たちを取り巻く環境が大きく変化しています。また、医学の目覚ましい進歩に伴って医療の専門化や高度化が進み、高度先進医療への期待も高まっています。このような医療を取り巻く様々な課題に柔軟に対応でき、患者さんやそのご家族に寄り添った心温かい医療が提供できる人材を育成し、社会に送り出すことが我々の使命です。

私が目指す大学は、学生中心の大学（Student）、使命を果たせる大学（Mission）、国際性豊かな大学（International）、地域に根差した大学（Local）、そして愛媛に貢献できる大学（Ehime）、この5つの頭文字を合わせた「愛顔（SMILE）あふれる大学」です。

本学を志望する皆さんは、医療人としての資格を得て社会に旅立つことが一番の目標だと思いますが、大学で学ぶべきこと、修得すべきことは決してそれだけではありません。高い人間性、幅広い教養、そして豊かな感性を身に付けることも大学生活では大切なことだと考えます。

本学は、自由闊達に勉学やサークル活動に励むことができる素晴らしい環境に恵まれ、教職員の教育に対する熱意に溢れています。私たちは皆さんの素晴らしい潜在能力が大きく花開き実り多いものになるよう全力で支援することをお約束します。

「叩けよさらば開かれん」積極的に努力すれば必ず目標を達成することができます。皆さんのご活躍を大いに期待しています。

公立大学法人 愛媛県立医療技術大学　学長　安川 正貴





大学の理念･目的

「生命の尊重」を基本理念として、豊かな人間性と倫理観によって培われた広範な視野と深い人間理解の下に、高度の専門的な知識と技術を備えた人材を育成するとともに、地域に開かれた大学として、教育及び研究を推進し、その成果を社会に還元することにより、地域社会における保健、医療及び福祉の向上に寄与することを目的とする。

本学の教育研究組織

保健科学部

- 看護学科
- 臨床検査学科

保健医療学研究科（大学院）

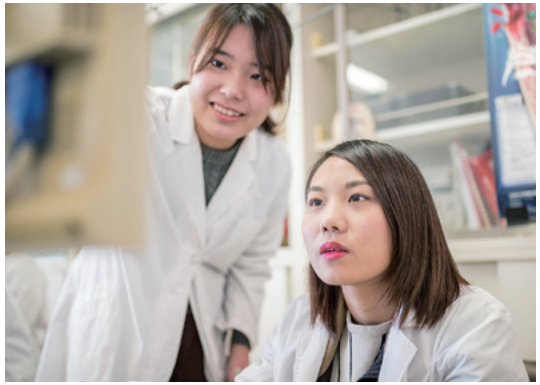
- 看護学専攻
- 医療技術科学専攻

助産学専攻科

図書館

地域交流センター





技と思考を鍛える

愛媛県立医療技術大学のキャンパスは、松山市の郊外、
「アートの里」砥部町の静かな恵まれた教育環境にあります。
本学は地域の保健医療福祉に貢献できる人材を育成する県立の４年制大学です。
社会から求められるのは、プロとしての確かな力です。
４年間で人として豊かに生きる感性を磨きながら、医療の技と思考を鍛えます。
決してやさしい道ではありませんが、
プロとしての厳しさとやりがいにチャレンジするあなたを応援します。

沿　革

昭和62年12月	愛媛県立医療技術短期大学認可
昭和63年　4月	愛媛県立医療技術短期大学開学
平成　3年　4月	愛媛県立医療技術短期大学に専攻科開設
平成15年11月	愛媛県立医療技術大学設置認可
平成16年　4月	愛媛県立医療技術大学開学
平成19年　3月	愛媛県立医療技術短期大学閉学
平成22年　4月	公立大学法人に移行
平成24年　4月	愛媛県立医療技術大学に助産学専攻科開設
平成25年12月	愛媛県立医療技術大学大学院設置認可
平成26年　4月	愛媛県立医療技術大学大学院開設

保健科学部

看護と臨床検査の2学科からなり、
学生は一緒に学ぶことでチーム医療への理解も深まります。

教育研究上の目的

豊かな人間性と高度な専門知識・能力を備えた人材の育成を図るとともに、保健医療分野における教育・研究・地域貢献の拠点として中心的な役割を担い、保健医療の発展に寄与することを教育研究上の目的とする。(学則第3条)

教育理念

生命の尊重を基本理念とし、豊かな人間性と倫理観によって培われた広範な視野と深い人間理解の下に、保健及び医療に関する高度の専門的な知識と技術をもって、あらゆる人々の健康と福祉の増進に寄与することができる実践者を育成します。

教育目標

豊かな感性	深い人間理解と高度な倫理観及び生命の尊厳を基盤とし、豊かな感性により人間の感情・意思及び自己決定権を尊重する人材を育みます。
実践能力	高度の専門的知識・技術を駆使し、科学的根拠に基づいた実践能力を有する人材を育みます。
協調・協働	保健・医療・福祉・教育など他の専門職の役割を理解し、柔軟に協調・協働しうる人材を育みます。
自己教育力	職業人として自らの行動に責任を持ち、かつ継続的な学習により能力を高める人材を育みます。
柔軟な思考	医学・医療技術の進歩発展や、保健医療に対する社会の変化・多様化に伴う要請に柔軟に対応しうる人材を育みます。
グローバルな視点	自分とは異なる物の見方や考え方をする人がいるという多様性を受け入れ、グローバルな視点で物事を考えられる人材を育みます。





保健科学部 3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー〈卒業認定・学位授与の方針〉

修業すべき年数以上在学し、卒業に必要な所定の単位を修得していること。さらに、教育目標に照らし、学科ごとに指定する能力を修得できていることを要件とする。

カリキュラム・ポリシー〈教育課程編成・実施の方針〉

- 看護学科・臨床検査学科で構成される保健科学部のカリキュラムは、「共通教育科目」「専門基礎科目」「専門科目」の3群で組み立て、1年次から4年次にかけて系統的に配置します。
- 「共通教育科目」は教養及び豊かな人間性を涵養する〔教養科目群〕と医療職として求められる人間理解とコミュニケーション能力、課題探究力の育成を意図した〔基礎科目群〕で構成し、1・2年次に開講します。特に、自己教育力を高めることを目指し、大学生としての主体的な学び方や学習資源の活用方法等を身に付ける科目（初学者ゼミ、基礎ゼミ等）を1年次に配置します。
- 「専門基礎科目」は各学科の高い専門教育の土台となるとともに医療人としての共通の知識と態度を学ぶ科目群と位置づけ、相互理解と連携・協働力の育成につながるようほとんどの科目を両学科合同開講とします。
- 「専門科目」では高度な知識・技術を学びつつ、2年次からの段階的な臨地実習や実験によって、科学的知識に基づいて観察・判断できる力や情報を統合する力を身につけられるよう科目を配置します。4年次には、これらの仕上げとして統合、探究、発展に向けた科目等を学習し、課題解決能力や研究的な視点を学ぶカリキュラム構成とします。

アドミッション・ポリシー〈入学者受け入れ方針〉

本学の設置理念や教育目的に賛同し、地域の保健医療に貢献しようとする人材を受け入れます。受け入れにあたっては、入学志願者の能力および適性等を多面的に判定し、多様な選抜試験を公正かつ妥当な方法で実施します。求める学生像は以下のとおりです。

- 保健医療に関心をもち、地域社会に貢献する意欲がある人
- 自己の人間性を育み、他者を尊重する態度を有している人
- 物事を論理的・多面的に捉え、自分の考えを表現できる人
- 保健医療を学ぶために必要な基礎学力を身につけている人



砥部の里で共に学び医療職の一員へ

本学は人々が健康に生きることを支援する看護職と正確な診断・判定に寄与する臨床検査技師を育成する医療系大学です。将来の医療職という共通基盤のもと、小規模校であることを強みに、学科を超えて学生同士が切磋琢磨し合います。医療職の一員となるための学修は簡単ではありませんが、教育環境を整え、教職員の丁寧な指導と支援、ならびに地域の病院や関連施設等の方々のご理解とご協力を得て、信頼される医療人となれるよう“技と思考”“人間力”を鍛えていきます。卒業後の進路先には、1年課程の助産学専攻科、大学院も設置され、さらなるキャリアアップの道も拓かれています。この砥部の里で共に学び、医療職の一員に加わってくださることを願っています。



学部長　中西 純子

保健科学部 カリキュラムの特色

深い人間理解や地域理解のもと、保健医療の質の向上に貢献できる専門知識・技術を修得し、実践能力と学究的姿勢が身につくようにカリキュラムを構成しています。

人間理解および倫理観の醸成

広く人間を理解し、生命の尊厳や倫理観を養うために必要な教養教育の充実を図り、目的意識をもって学ぶことができるよう選択科目を多く設けています。

地域住民の生活理解と健康増進への寄与

社会のしくみや環境との関わりの中で人々の健康を考えることができるよう各種制度論や公衆衛生学を両学科の学生が一緒に学び、人々の健康を手助けする担い手としての力を身につけます。

コミュニケーション能力の養成

基本的な日本語の文章表現や語学、コミュニケーション論などを学ぶとともに、カウンセリングや面接技法の学習によって自分の意思や感情を表現する方法を身につけます。

実践に活用できる専門的知識・技術の修得

臨地実習や実験によって、科学的知識に基づいて観察・判断できる力や情報を統合し課題を解決する力を身につけます。技術は、卒業時到達度を明確にして全員達成できるよう繰り返し学習します。

チーム医療の実践力の強化

2学科で構成される大学の特色を生かし、両学科一緒に学ぶ科目を配しています。4年次には、チーム医療の重要性を認識し、他職種の役割を理解して共に働くことができる力を身につけます。

課題探究能力の養成

1年次から、少人数形式のゼミ等によって大学生としての主体的な学び方や学習資源の活用法を段階的に身につけます。4年次には統合・発展科目群を学習し、課題解決能力や研究的な視点を養います。

グローバルな視点の涵養

人間の多様性や医療ニーズの多様化に対応できる広く包括的な視点を涵養するため、異文化を理解する科目の配置や病院のみならず地域の様々な場所での実習を取り入れています。







保健科学部 カリキュラムの概要

共通教育科目

看護学科



臨床検査学科



基礎科目

教養科目

専門基礎科目

- 医療の基礎
- 人間の身体と精神
- 疾病の成り立ちと回復
- 社会のしくみと健康
- 検査の基礎（臨床検査学科のみ）

専門科目

専門分野Ⅰ

基礎看護学

専門分野Ⅱ

成人看護学
老年看護学
小児看護学
母性看護学
精神看護学

統合・発展分野

地域・在宅看護学
看護の統合と発展

- 看護アセスメントⅠ・Ⅱ・Ⅲ
- 災害看護学Ⅰ・Ⅱ
- 看護管理学Ⅰ・Ⅱ
- 看護教育学
- 看護研究
- 総合実習

公衆衛生看護学※
※公衆衛生看護学等選択者必修科目

臨床検査の基本

検査総合管理学

臨床検査の応用と発展

医学検査研究
医学検査診断学

臨床検査の展開・実践

臨地実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
生理機能検査学
感染・生体防御検査学
生体試料分析検査学
形態検査学

この大学を選んだ理由

看護学科

地域との繋がりが強いのも僕にとっては魅力でした

僕が看護師を目指したのは小学生の時の入院経験からです。つらく孤独な入院生活の中で、看護師さんの優しい言葉がとても支えになりました。また心配する母にも優しい言葉をかけてくれ、僕もその家族まで励ますことができるような看護師になりたいと思いました。

看護学科卒業生　林　裕晃さん





臨床検査学科

私の目標を実現するために最適な大学だと思い選びました

母や祖父母の仕事の影響で、幼い頃から将来は医療に携わる職に就きたいと思っていました。色々調べる中で、様々な形で患者さんや医師の役に立てる臨床検査技師に魅力を感じ、愛媛県立医療技術大学を志望。少人数で学べること、充実した最新の医療器械などが魅力です。

臨床検査学科卒業生　吉岡 愛加さん





保健科学部

看護学科

4年制
定員75名

Department of Nursing

◀看護学科の詳細情報はこちら

取得可能な資格

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師国家試験受験資格
  - 公衆衛生看護学選択者のみ取得可能
  - **養護教諭2種免許申請資格** 一般授業科目を放送大学にて受講する必要がある場合があります。
  - **衛生管理者免許申請資格** ※養護教諭2種免許申請資格及び衛生管理者免許申請資格は保健師免許取得者が申請可能です。

看護師国家試験（令和3年度）
合格率 100%
（令和3年度新卒者全国平均 93.0%）

保健師国家試験（令和3年度）
合格率 100%
（令和3年度新卒者全国平均 96.5%）

教育研究上の目的

看護学を中心とする保健医療に関わる専門的な知識の構築及び技術の開発につながる研究活動を展開し、その成果に基づく教育活動を通して、保健医療に対する社会的な要請に応え得る高度な専門知識、技術及び能力並びに高い倫理観を持つ人材を育成する。（学則第3条）

教育目標

看護学科では保健科学部の教育目標を踏まえ、以下のような人材の育成を目指します。

1. 高度な倫理観及び生命の尊厳を基盤とし、自己決定権を尊重する看護ができる人材
2. 科学的根拠に基づいた看護が実践できる人材
3. 多職種で連携・協働しながら看護職としての役割を果たせる人材
4. 看護職として責任ある行動がとれ、主体的な継続学習により自己研鑽に努める人材
5. 保健医療福祉の変化を捉え、看護の発展・向上に寄与できる人材
6. 多様な見方・考え方を受け入れ、グローバルな視点で物事を考えられる人材

これからの新たな社会で活躍できる看護職者となるために…

看護職者には、社会に暮らす人々がどのような健康状態にあっても、人間としての尊厳と権利を擁護し、その人らしい人生を送れるように生活を「支援」する役割があります。その実現には、自身の力を最大限に発揮し、その人と共に新たな支援の方法を創造していくことが重要になります。また、日本はこれまでに例を見ない新たな局面にさしかかっています。私たち看護職は、人々の健康を「支援」するために、根拠に基づき自ら判断できる「自律的な看護職」となる必要があります。本学での学生生活を通して、一歩ずつ必要な能力を身につけていきましょう。



看護学科長 野本　百合子

主な実習施設

愛媛県立中央病院ほか松山市・伊予市・東温市の医療機関
松山市・伊予市・東温市の高齢者福祉施設
松山市の訪問看護ステーション
愛媛県内の保健所及び市町保健センター・企業
砥部町の保育所・幼稚園・こども園・小学校・中学校
松山市・砥部町の精神障がい者の社会復帰施設

Point 学びのポイント

看護学教育の充実を図り、キャリア発達を促すことのできる、より看護実践能力を高める教育内容となっております。



基礎教育講座
医療従事者として豊かな人間性と幅広い教養を身につけることを目的に学生教育を行っています。

基礎看護学講座
「看護とは何か」を主題に看護の対象理解、看護者としてのものの見方・考え方や、看護の実践に不可欠な看護技術を習得します。

母性・小児看護学講座
妊娠・出産・子育てを中心とした女性の健康への支援と、子どもの成長・発達、病気の子どもと家族への支援などの看護を探求します。

成人・老年看護学講座
成人看護学（急性期、慢性期、リハビリテーション期）と老年看護学において様々な健康レベルにある人への看護を探求しています。

地域・精神看護学講座
地域社会で生活している人々が、自分たちの意思と力で健康的な生活が出来るための支援について追求する講座です。







看護学科 3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー〈卒業認定・学位授与の方針〉

修業すべき年数以上在学し、卒業に必要な所定の単位を修得していること。さらに、教育目標に照らし、以下の能力を修得できていることを要件とします。

- 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。
- 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。
- 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。
- 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。
- 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。
- 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。
- グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー〈教育課程編成・実施の方針〉

保健科学部としてのカリキュラム・ポリシーのもとに、看護学科では、教育目標、ディプロマ・ポリシーを達成するため、以下のような方針で教育課程を実施します。

- 入学後早期より看護学への関心を高めるため、「共通教育科目」「専門基礎科目」と並行して「専門科目」のうちの基礎部分の学修を開始し、臨地実習も1年次から配置する。
- 専門基礎科目では看護実践の根拠となる確かな知識が修得できることを目指して科目を構成する。すなわち、〔医療の基礎〕〔人間の身体と精神〕〔疾病の成り立ちと回復〕〔社会のしくみと健康〕に関する科目群を配置し、人間を多面的に捉えるようにする。
- 専門科目では、基礎から応用・発展へと学修が進むよう系統的に配置する。すなわち、〔基礎看護学〕を1・2年次に配置し、この学修を基盤とし、2年次～4年次に、人間の発達段階や健康レベル、看護を提供する場の特性別に〔小児看護学〕〔地域看護学〕等の各看護分野の科目を配置する。また、4年次には、より深い専門性と看護の本質を探究する能力を修得するため、総合実習・看護研究等を置き、さらに看護教育・看護管理・災害看護分野のいずれかを選択して学修を発展させる。
- 学修の水準を段階的に向上させるよう系統的に構成すると同時に、各段階で、知識の統合、知識と体験の統合が図れるよう「看護アセスメント」等の統合科目の配置や教育方法の工夫を行う。
- 教育方法には、根拠に基づいた看護実践能力を修得するため、事例や場面を設定したシミュレーション等、演習を多く取り入れる。また、課題学習や実習ポートフォリオの活用により、自己教育力を高める。

アドミッション・ポリシー〈入学者受け入れ方針〉

看護は、人間の生老病死に寄り添いながらその尊厳と安全を守り、もてる力を引き出していく仕事です。超高齢社会にあって、看護職は医療機関はもちろんのこと地域・在宅、福祉施設や企業・学校など、多様な場において様々な人々と連携・協働していく役割が求められています。このような社会のニーズに応えられる人材を育成するために、看護学科では、保健科学部として求める学生像に加えて右記のような入学生を求めます。

- 看護職として地域社会の役に立ちたいと考える人
- 人々の生き方・暮らし・健康・社会に関心がある人
- リーダーシップ・メンバーシップが発揮できる人

看護学科生の学び

知識はもちろん、それ以上に人と接することが大切。自分自身の成長もここからスタート。

1年次



萩山 実咲さん

学んだことをこれからに繋げていく

1年生では、社会人や看護師として必要な基礎知識を学びます。初めての実習では様々な医療施設に行って、現場で活躍する看護職の方の姿を見ました。自分が得たことを班や全体で共有し、自分の目指す看護師像やよりよい看護を提供することについて深く考えることができました。同じ目標をもつ仲間や気軽に話すことができる先生方もいて、恵まれた環境で学習できることに感謝しつつ、今後の学びに活かしたいです。





Time schedule



コロナ禍でも充実した学校生活

1年生では専門知識に加え、一般教養も学びます。新型コロナウイルスの影響でオンライン形式での授業が多く不安な時期もありましたが、授業の中でグループワークなど様々な人と関わる機会があり、楽しく授業を受けることができました。実技演習などは対面で行い、先生方の丁寧なご指導の下、毎日ペアで練習を重ねて上達することができました。対面で授業ができること、友人や先生方と直接関われることの大切さを改めて感じました。

木村 茉南さん

木村さんの1日

7:00 起床
7:40 自宅出発
8:50 1限 初学者ゼミ
10:30 空きコマを利用して看護技術の練習
12:00 友達とお弁当を食べる
13:00 3限 統計学



14:40 4・5限 生活援助技術論Ⅱ
18:00 学校から帰宅・バイトの準備
18:30 アルバイト
22:30 アルバイトから帰宅、夕食・入浴
23:30 課題、授業の予習・復習
1:00 就寝

2年次



宝田 莉子さん

実習での経験を無駄にしないために

2年生では、専門分野を多く学習するため、より本格的な看護技術を身につけることができます。また夏には初めて患者さんを受け持ち、病院実習を行います。現場の看護師さんや先生からアドバイスを受けながら患者さんに必要な援助を考えます。学生同士で励まし合いながら有意義な実習を行うことができました。しかし、実習を通して知識や技術不足を痛感しました。そのため、演習では学生同士で何度も練習を行い、日々学習に励んでいます。





Time schedule



充実したキャンパスライフ

2年生では知識を実践に活かすような講義が増え、よりレベルの高いものが求められるため大変だと思うこともありますが、仲間と助け合い切磋琢磨しています。週末はアルバイトをしたり、時にはゆっくり休んだりと自分の時間も大切にしながら計画的に過ごしています。多忙な中でも放課後や休日に友達と遊んだりすることで息抜きしながら、成長と充実を感じられる楽しい学生生活を送ることができています。

藤冨 未奈さん

藤冨さんの1日

7:00 起床
8:30 自宅出発
8:50 1限 実践と研究
10:30 2限 保健医療福祉行政論
12:00 昼食 友達とお弁当を食べる



13:00 3限 在宅看護対象論
14:40 4・5限 診療援助技術論演習
18:30 帰宅・夕食・入浴・課題・予習復習
24:00 就寝

3年次



十川 穂香さん

領域別実習で看護師としてのイメージを具体的に

3年後期には約半年に及ぶ領域別での実習があります。今まで身につけた知識や技術を実践出来る機会が増え、より多くの学びを得ることが出来ます。また、患者や家族と関わる時間が増えることで、看護の対象には患者だけでなく家族も含まれるということを学ぶことが出来ます。様々な領域での看護の特徴を掴み、魅力を知ることで、将来看護師として働くイメージが具体的なものになると思います。





Time schedule



頑張りの源、体力にも気配り

実習中は朝が早く帰宅後は多くの記録と学習で、睡眠時間が少なくなりがちですが、実習は体力が必要なので、しっかり睡眠を取れるように時間を決め集中して取り組むように心がけています。大変だと感じることもありますが、1・2年生での学びを実践に活かし患者さんの笑顔を見られることで、日々自分の成長を実感し充実した日々を過ごしています。たまに土日に友達と遊ぶことでリフレッシュしています。

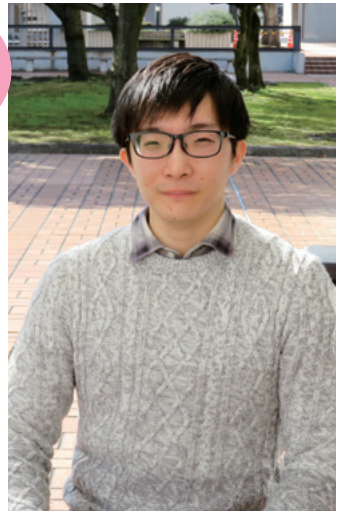
笠松 奈央さん

笠松さんの1日

6:30 起床・身支度
7:00 自宅出発
8:00 病院での実習開始
12:00 休憩、昼食
13:00 病院実習再開
16:30 帰宅
17:00 実習記録記入
19:00 夕食、家族と団らん
20:00 実習記録記入、実習のための学習
21:00 入浴
21:30 実習記録記入、実習のための学習 明日の準備
24:00 就寝



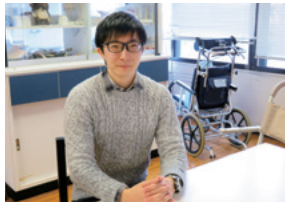
4年次



小玉 将慶さん

密度の濃い１年間で自分自身の成長も実感

４年生では総合実習や看護研究、就職活動や国家試験など、大きなイベントが控えています。不安はありましたが、先生方の支えや仲間との協力、今までの実習や講義から得た知識や経験を最大限活用し、一つ一つ乗り越えていくことで自身の成長に繋がったと思います。
公衆衛生看護選択者として本格的に講義も始まり、多くの達成感と充実感の得られる大学生活を送ることができました。





Time schedule



残り少ない学生生活を大切に

４年生になると、看護研究が始まります。初めての研究はわからないことだらけで難しく感じることも多いですが、担当の先生方の手厚いご指導のもと、自分たちで選んだ研究テーマが少しずつ形になっていることを実感しています。また、2月に控えた国家試験に向けての勉強にも力が入ってくる時期です。将来自分が働いている姿をイメージしたり、友人と息抜きをしながらモチベーションを高めています。

松本　萌さん

松本さんの1日

8:00 起床、朝食、身支度
9:00 担当の先生と看護研究についてのミーティング
10:00 看護研究（分析、本文添削など）
12:00 昼食 友だちと学食のAランチを食べる
13:00 図書館で学習
18:00 アルバイト
22:00 帰宅、入浴、家事
24:00 就寝



保健科学部

臨床検査学科

Department of Medical Technology

4年制
定員25名

◀臨床検査学科の詳細情報はこちら

取得可能な資格

臨床検査技師国家試験受験資格

甲種危険物取扱者試験受験資格

食品衛生管理者・食品衛生監視員任用資格

※食品衛生管理者・食品衛生監視員任用資格は
必要な選択科目を習得する必要があります。

臨床検査技師国家試験（令和3年度）

合格率 81.5%

（令和3年度新卒者全国平均 75.4%）

教育研究上の目的

医学検査学を中心とする保健医療に関わる研究活動を展開し、これに基づいた専門知識及び技術を教授するとともに、保健医療に対する社会的な要請に応え得る高度な専門知識、技術及び能力並びに高い倫理観を持つ人材を育成する。（学則第3条）

教育目標

臨床検査学科では保健科学部の教育目標を踏まえ、以下のような人材の育成を目指します。

1. 医学検査の対象となる人を総合的に理解できるとともに、高い倫理観を身につけた人材
2. 検査データを総合的に解析する力を培い、様々な課題に対応できる実践能力を身につけている人材
3. 多職種と連携・協働しながら、医学検査領域の専門家としての役割を果たせる人材
4. 臨床検査技師として責任ある行動がとれ、継続的に自己研鑽に努める人材
5. 医学検査とそれに関連した幅広い分野の発展・向上に寄与できる学究的態度を身につけた人材
6. グローバルな視点で医学検査を科学的に探求し、地域社会における保健医療を発展させる基礎力を身につけた人材

臨床検査で医療現場に貢献する

医療の高度化・複雑化に伴い、診断・治療において臨床検査技師が果たすべき役割も一層重要なものとなっています。本学科では臨床検査に必要な基礎的・専門的知識と技術を修得し、状況に応じて適切な判断や解決能力を身につけることが出来るよう、教育に熱意のある経験豊富な教員が皆さんの学びの援助をします。



臨床検査学科長 則松 良明

主な実習施設

臨地実習Ⅰ			臨地実習Ⅱ	臨地実習Ⅲ
愛媛生協病院	道後温泉病院	新居浜別子病院	愛媛県衛生環境研究所	愛媛県立中央病院
済生会松山病院	松山まどんな病院	済生会西条病院	愛媛県総合保健協会	愛媛大学医学部附属病院
貞本病院	国立病院機構愛媛医療センター	喜多医師会病院	愛媛県厚生連健診センター	国立病院機構四国がんセンター
鷹の子病院	松山市民病院	市立宇和島病院		松山赤十字病院

Point 学びのポイント

医療従事者として高い倫理観を持ち、チーム医療の一翼を担うために必要な専門知識、技術を習得できるカリキュラム編成としています。



生体情報学講座

生体を構成する臓器や組織、細胞の形態を観察し、正常と異常の相違点、異常と疾患の関係を理解するために形態解析的検査技術及び理論を基礎から学びます。また、血液や尿に含まれる様々な成分を化学的分析法や遺伝子検査法を用いて測定し、病気の診断、治療、予後、治療の適否や健康状態を的確に把握するためのデータを得る方法について学びます。

基礎検査学講座

感染・生体防御検査学では、感染症を起こす病原微生物の検出方法や感染症の治療に用いる薬剤について、また病原体やがんから我々の体を守るために様々な免疫担当細胞や多くの反応因子により構築されている生体防御反応や自己免疫性疾患のような免疫システムの破綻でおこる疾患について学びます。生理機能検査学では、病気や診断や治療に必要な情報を得るために、ヒトの体に直接機器をあて行う検査手技やデータ解析方法について、また用いる機器の構造・原理などについても学びます。

臨床検査学科 3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー〈卒業認定・学位授与の方針〉

修業すべき年数以上在学し、卒業に必要な所定の単位を修得していること。さらに、教育目標に照らし、以下の能力を修得できていることを要件とします。

- 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。
- 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。
- 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。
- 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。
- 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。
- 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー〈教育課程編成・実施の方針〉

保健科学部のカリキュラム・ポリシーのもとに、臨床検査学科では、教育目標、ディプロマ・ポリシーを達成するため、以下のような方針で教育課程を実施します。

- 入学後早期より臨床検査学への関心を高めるため、「共通教育科目」「専門基礎科目」と並行して「専門科目」を学び、学年進行に従って基礎から応用へと専門性を深めることができるよう科目を配置する。
- 専門基礎科目には、看護学科と合同開講の〔医療の基礎〕〔人間の身体と精神〕〔疾病の成り立ちと回復〕〔社会のしくみと健康〕に関する科目群に加えて、臨床検査学科特有の〔検査の基礎〕に関する科目群を配置する。また、患者の心理に配慮した対応のできる検査技師の育成を目指し、〔人間の身体と精神〕に関する科目のひとつに≪患者・家族の心理≫を置く。
- 検査技術学の理論・実践を科学的に追求し、高度の専門知識・技術を身につけるため、「専門基礎科目」と「専門科目」を学年進行とともに系統的に配置し、4年次にはそれらの応用・発展科目に位置づく科目、医学検査診断学、医学検査研究を置く。
- 臨床検査技師の活躍の幅を広げる目的で、自由科目として食品衛生管理者等の資格取得科目を開講する。
- 臨地実習は、中規模病院における臨床検査技師の役割と臨床検査の位置づけを学ぶ臨地実習Ⅰ、病院以外の場における臨床検査技師の活動について学ぶ臨地実習Ⅱ、大規模病院における各分野の臨床検査について学ぶ臨地実習Ⅲを2年次から4年次にかけて段階的　に配置し、教室内学修との統合を図る。

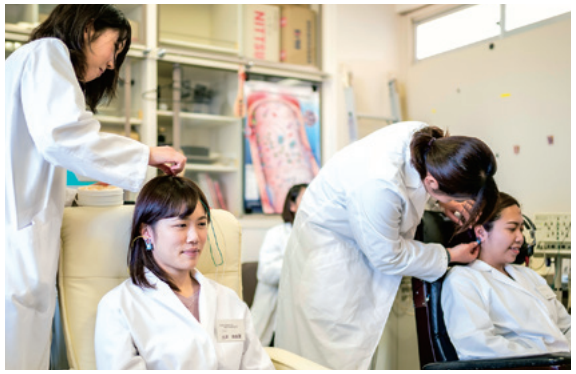
アドミッション・ポリシー〈入学者受け入れ方針〉

臨床検査は、病気の正確な診断や治療方針を決定するために必要なデータを提供する仕事です。最新の医学を基礎とし、医用機器を駆使した高度な検査を行うとともに、健康増進・予防医学・研究開発の分野でも役割を求められています。このような社会のニーズに応えられる人材を育成するために、臨床検査学科では、保健科学部として求める学生像に加えて右記のような入学生を求めます。

- 臨床検査技師として、保健医療の分野で活躍したい人
- 人間の体の仕組みや機能、健康・病気に関心がある人
- 他者を尊重し、連携・協働していける人







臨床検査学科生の学び 医療の現場でどう役割を背負っていくか。目標を持って一歩一歩近づいていくことが喜び。

1年次



田幡 華乃さん

友達や先輩方とのつながり

1年生では、前期は基礎科目を履修し、後期ではそれに加えて、専門科目や学内実習が始まります。最初は何も分からない状態で不安でしたが、先輩や先生方から多くのアドバイスをもらい、充実した大学生活を送っています。専門科目の試験や実習レポートなど、高校時代とは異なることに大変さも感じていますが、同じ目標に向かう友達がいることの心強さや大切さを実感しています。サークル活動では、他学科の先輩や同級生とも楽しい時間を共有しています。





Time schedule



安心して通うことができる環境

1年生の間は、看護・検査専攻合同で受ける講義が多いため、他分野の同級生とも交流することができます。専門科目では実習の時間が多いですが、ひとりでは難しいと感じる内容でも、実習グループ内で協力することにより、課題に取り組むことができます。少人数のため、先生との距離も近く、困ったことがあればすぐに相談することができるので、入学当初は不安なことも多くありましたが、今では安心して楽しい大学生活を送ることができています。

伊藤 菜央さん

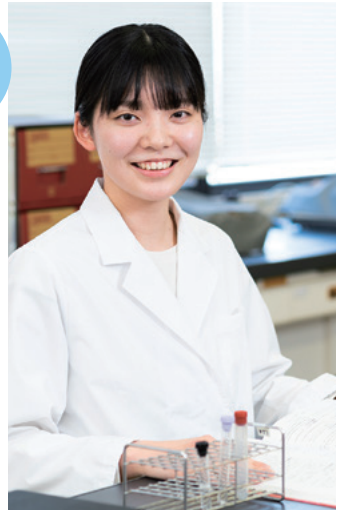
伊藤さんの1日

6:00 起床・身支度
7:00 通学
8:50 1限 人体の構造と機能III
10:30 友達と勉強
12:00 昼食



13:00 3-5限 人体の構造と機能実習
19:30 帰宅・夕食・入浴
22:00 勉強
24:00 就寝

2年次



麻田 菖さん

新たな学びを得た充実した1年間

2年生では血液学や病理学など、専門的な講義がスタートします。講義では毎回新たな学びを得られて、とても楽しい時間となっています。後期には学内実習の時間が増え、レポート作成で忙しい毎日ですが、友人と励ましあいながら乗り越えています。先生の丁寧な指導を受けられるので、理解が深まります。新型コロナウイルス感染対策のため、オンライン授業が中心の時期もありましたが、オンデマンド形式で何度も復習ができるメリットもあり、充実した1年間となりました。





Time schedule



専門科目や学内実習を通して学びを深める

2年生からは専門科目が増え、学科ごとの授業がメインになります。学内実習が本格的に始まり、尿検査など実際に病院検査室で行われる検査項目を学んでいきます。レポート課題をこなしていくのは大変ですが、実習を通して多くの学びを得ることができます。定期試験は1年生の時に比べて、科目数も増え、難易度も上がりますが、毎回友達と協力して乗り越えています。先生方も、しっかりとサポートしてくださるので心強いです。

川口 桃花さん

川口さんの1日

7:00 起床
8:20 通学
8:50 1限 臨床微生物学I
10:30 2限 疫学
12:00 昼休み
13:00 3-5限 臨床検査総論実習
16:30 帰宅
18:00 アルバイト
21:30 入浴
22:00 レポート・課題
24:30 就寝



3年次



近藤 ゆめのさん

大変だけど充実した日々

3年生では、超音波検査や検体検査、病理検査などの学内実習が毎日あります。そのため、課題のレポート作成が大変でしたが、友達と協力しながら乗り越え、同級生との絆を深めることができました。2年生までの座学だけでは理解しきれなかった部分も、実際に実習で経験することによって、検査の重要性や原理などを理解できたのではないかと感じています。専門的な実習を受けると、自分がどんな臨床検査技師になりたいのか、という将来の姿をしっかり思い描けるようになりました。





Time schedule



自分の未来像が明確に

3年生になると、様々な専門分野の実習があり、徐々に自分が将来就く仕事のイメージがより明確になってきて、充実した毎日を過ごしています。実習を行うなかで、1-2年生の時に学んだ知識と経験が結びつく瞬間があると、とても嬉しいです。この大学は先生との距離が近く、質問や相談がしやすいため着実に勉強を進めることができます。また、空いた時間は趣味やサークルに使い、楽しい毎日を過ごしています。

小田 千寛さん

小田さんの1日

8:00 起床・身支度
8:40 自宅出発
8:50 1限 画像検査学
10:30 2限 院内感染管理学
12:00 友人と学食でランチ
13:00 輸血移植検査学実習
17:00 帰宅・家事
18:00 自由時間
20:30 入浴・レポート作成
24:30 就寝



4年次



田野 ゆづきさん

4年次は将来に直結する充実した1年間

4年次には、大病院での2カ月間の臨地実習、卒業研究、就職活動そして国家試験があり、ハードな1年間でした。3年次までは講義や学内実習がほとんどでしたが、4年次では研究や就職活動など自分で考え主体的に行動することが多かったように思います。特に就職活動を行ううえでは、自分がどんな臨床検査技師になりたいのか、何をしたいのかを見つめ直すいい機会になりました。



Time schedule



忙しい日々の中に新しい発見

4年生では、臨地実習、発表会、卒業研究、就職活動、国家試験と様々な行事をこなすことになります。忙しい日々を過ごしていますが、毎日新しい発見をしたり、専門知識を身につけたりと充実した生活を送ることができ、自身の成長を大いに感じ取ることができています。国家試験対策では、分からないところを先生に教えて頂いたり、友達と共に勉強し知識を共有したりと学部・学科全員で合格に向けて力を注いでいます。

林　あかねさん

林さんの1日

6:00 起床・身支度
7:10 自宅を出て実習先の病院に向かう
8:00 臨地実習(午前)開始
12:00 実習先にて昼食
13:00 臨地実習(午後)開始
17:15 臨地実習終了・帰宅準備
18:00 帰宅・夕食準備
19:00 夕食・家事
20:00 復習・予習
22:00 入浴
23:00 就寝



保健医療学研究科(大学院)

定員　看護学専攻 5名
　　医療技術科学専攻 3名

大学院の詳細情報はこちら▶

教育研究上の目的

保健医療学研究科(大学院)は、「地域の保健医療を支える」を基本理念として、保健医療の分野に関してより高度で専門的な学術理論及び実践能力を修得するとともに、総合的な調整能力・指導力・教育力等を有する高度専門職業人を養成することにより、本県の保健医療関係職種の質の向上を図り、もって県民の生涯を通じた健康づくりと保健医療水準の向上に寄与することを目的としています。

教育理念

保健医療学研究科(大学院)は、「地域の保健医療を支える」を基本理念として、保健医療の分野に関してより高度で専門的な学術理論及び実践能力を修得するとともに、総合的な判断能力・指導力・教育力を有する高度専門職業人を育成します。







教育目標

本研究科は、保健医療分野における社会的な諸課題を具体的に解決することにより健康でこころ豊かに生活できる地域社会の実現に貢献し得る高度専門職業人を育成することを基本目標とし、修士課程において次のような能力を有する人材を育成します。

- 実践の現場で展開されている諸現象について科学的に検証しエビデンスを明確にするとともに、学術研究を通してそれらをさらに深化・発展させ、その成果を実践に適用することのできる人材を育成します。
- 地域社会で生じている保健医療の諸課題について、その内容を学問的・体系的に俯瞰するとともに、背景にある原因や要因、解決策について検討し、関係者や社会への発信、諸制度や地域システム改善の提言、関係職種との協働活動を展開できる人材を育成します。
- 保健医療機関、地域、行政、教育などの現場において、リーダーまたは管理者・教育者として中心的な役割を果たし、活躍できる人材を育成します。

3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー〈修了認定・学位授与の方針〉

本研究科に2年以上在学し、目標とする学問分野を深め、所定の単位(30単位以上で履修基準に定める単位数)を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、本研究科が行う修士論文の審査および最終試験に合格すること。
さらに、教育目標に照らし、専攻ごとに目指す能力を修得できていることを要件とする。

カリキュラム・ポリシー〈教育課程編成・実施の方針〉

本研究科は、高度専門職業人として種々の実践の場でリーダー・管理者・教育者などの役割を発揮するために、地域で生活する人々の保健医療全般にわたる現状や諸課題を広く理解し、総合的な判断力・調整力をもって看護、医療技術科学それぞれの分野において高い専門性を発揮できる人材の育成をねらいとしている。
このねらいを具現化するため、教育課程編成においては、まず、保健医療分野の高度専門職業人として、地域の保健医療に係る諸現象や他職種を理解し、視野の広い判断能力・指導力・管理力・教育力等を身につける上で必要と考える教育内容を、両専攻の学生が共に学び合うことでの相乗効果を期待し、研究科の「共通科目」として7科目を配置する。そのうち、保健医療システム論、医療倫理学特論を必修科目とする。そして、これらの科目における協働学習や討論を通して培った視野の拡がりや相互理解の深まり等を基盤とし、その上に、看護学・医療技術科学の専門性を追究していくことを目指して、「専門共通」「専門分野」を設ける。
「共通科目」から「専門共通」「専門分野」へと段階的学修を積み重ね、選択した専門分野の学修の集大成として特別研究へと発展させる教育課程とする。
なお、大学院設置基準第14条特例に基づき、授業は夜間、土曜日・日曜日に開講する。
各科目の評価はシラバスに明示した方法で実施し、修了判定はあらかじめ周知する基準にもとづく論文審査・最終審査をもって行う。
授業・カリキュラムの評価については、各科目の授業評価や学生との意見交換、修了時のカリキュラム評価等により改善につなげる。

アドミッション・ポリシー〈入学者受け入れ方針〉

本学大学院の設置理念や教育目的に賛同し、修士課程での学究を通してさらに高度な知識・技術を身につけ、地域の保健医療分野において活躍できる人材を受け入れます。
受入れにあたっては、入学志願者の能力、意欲および適性等を多面的に判定し、公正かつ妥当な方法で選抜試験を実施します。求める学生像は以下のとおりです。

- 保健医療分野の基礎知識を基盤として、柔軟な発想ができる人
- 保健医療の課題を探究するための論理的な思考力を備えた人
- 保健医療分野においてリーダーまたは管理者・教育者として貢献する意欲のある人

看護学専攻

教育研究上の目的

看護学に関する学習に基づき現象や経験を意味付けする力、人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力及び論理的に思考し人々に説明できる力を身に付け、高度な専門的能力を発揮できる職業人として、実践の場でリーダー・管理者・教育者の役割を担える人材を育成するとともに、看護学や保健医療に関する研究成果の産出を通して社会に貢献することを目的としています。

教育目標

看護学専攻では保健医療学研究科の教育目標を踏まえ、以下のような人材の育成を目指します。
看護に関する学習や経験をふり返り意味づけする力、人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力、論理的に思考し人々に説明できる力を身につけ、高度専門職業人として実践の場でリーダー・管理者・教育者の役割を発揮できる人材を育成します。

3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー〈修了認定・学位授与の方針〉

本研究科に2年以上在学し、目標とする学問分野を深め、所定の単位（30単位以上で履修基準に定める単位数）を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、本研究科が行う修士論文の審査および最終試験に合格すること。
さらに、教育目標に照らし、以下の能力を修得できていることを要件とする。

- 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。
- 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。
- 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。
- 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。
- 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。
- 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。

カリキュラム・ポリシー〈教育課程編成・実施の方針〉

専門科目は、「専門共通」と「専門分野」「特別研究」の区分で構成します。

- 保健医療分野の高度専門職業人として、地域の保健医療に係る諸現象や他職種を理解し、視野の広い判断能力・指導力・管理力・教育力等を身につける上で基盤になる教育内容を、両専攻の学生が共に学び合うことでの相乗効果を期待し、研究科の「共通科目」として7科目を配置する。そのうち、保健医療システム特論、医療倫理学特論を必修科目とする。
- これらの科目における協働学習や討論を通して培った視野の拡がりや相互理解の深まり等を基盤とし、その上に、看護学の専門性を追究していくことを目指して、「専門共通」「専門分野」を設ける。
- 「専門共通」は看護学のいずれかの専門分野や特別研究を極めていくうえで、看護学として共通に学修する必要のある科目を配置し、個人のニーズに合わせて選択とする。
- 「専門分野」は、〈基盤看護〉〈育成看護〉〈成人看護〉〈高齢者看護〉〈精神看護〉〈地域看護〉の6分野22科目で構成する。看護学専攻では、専門領域ごとに特論・演習を配し、ひとつの専門領域を系統的に深め、特別研究につなげていくことを意図し、研究しようとする領域については6単位以上、それ以外の専門科目（選択）から2単位以上を履修することとする。
- 特論ではその専門領域における中心概念や理論およびその展開方法等、演習は事例検討やフィールドワーク、文献のクリティーク等を通して学修した内容の理解を深化させるとともに、研究計画につなげていく。いずれも学生を主体とする発表・討論を軸に進めていく。
- 特別研究では、指導教員による個別指導を重ねながら、研究課題の探究から研究計画立案、発表会、研究の実施、中間報告会、論文作成、最終発表会と口頭試問のプロセスを経ることとし、これらを通して研究力の修得を図る。
- 2年次には研究が中心となるよう1年次にできるだけ特別研究以外の科目を履修し、1年次後期からはそれと並行して研究計画に取り組めるよう履修指導を行う。長期履修の場合も選択する研究領域科目及び研究方法に関わる科目を履修期間の前半に履修し、系統的にリサーチワークが行えるよう履修指導を行う。

アドミッション・ポリシー〈入学者受け入れ方針〉

研究科共通項目に加えて、看護学専攻は以下のような人を求めます。

- 看護実践上の課題解決に向けて自ら探究する意志のある人
- 専門分野における実践能力のさらなる深化を目指している人

医療技術科学専攻

教育研究上の目的

臨床検査学を中心とする医療技術科学領域に関する学習や経験を基盤に、卓越した臨床検査技術を駆使する力、高度で深い知識を活用した臨床検査法の開発・改良を行う力及び健康や病態診断に関連する課題を発見し解決法を自ら創造する力を身につけ、高度な専門的能力を発揮できる職業人として、実践の場でリーダー・管理者・教育者の役割を担える人材を育成するとともに、医療技術科学に関する研究成果の産出を通して社会に貢献することを目的としています。

教育目標
令和3年4月1日以降に入学した学生

医療技術科学専攻では保健医療学研究科の教育目標を踏まえ、以下のような人材の育成を目指します。
臨床検査の学習や経験を基盤に、臨床検査を中心とする医療技術科学において、高度の知識を活用した医療技術の開発・改良を行う力、卓越した検査技術を駆使する力を身につけ、高度専門職業人として実践の場におけるリーダー・管理者・教育者の役割を発揮できる人材を育成します。

3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー〈修了認定・学位授与の方針〉

本研究科に2年以上在学し、目標とする学問分野を深め、所定の単位（30単位以上で履修基準に定める単位数）を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、本研究科が行う修士論文の審査および最終試験に合格すること。
さらに、教育目標に照らし、以下の能力を修得できていることを要件とする。

- 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。
- ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。
- 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。
- 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。
- 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。
- 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。

カリキュラム・ポリシー〈教育課程編成・実施の方針〉

専門科目は、「専門共通」と「専門分野」「特別研究」の区分で構成します。

- 保健医療分野の高度専門職業人として、地域の保健医療に係る諸現象や他職種を理解し、視野の広い判断能力・指導力・管理力・教育力等を身につける上で基盤となる教育内容を、両専攻の学生が共に学び合うことでの相乗効果を期待し、研究科の「共通科目」として7科目を配置する。そのうち、保健医療システム特論、医療倫理学特論を必修科目とする。
- これらの科目における協働学習や討論を通して培った視野の拡がりや相互理解の深まり等を基盤とし、その上に、医療技術科学の専門性を追究していくことを目指して、「専門共通」「専門分野」を設ける。
- 「専門共通」は臨床検査学のいずれかの専門分野や特別研究を極めていくうえで医療技術科学として共通に学修する必要のある科目を配置し、個人のニーズに合わせて選択とする。
- 「専門分野」は、〈病因解析分野〉〈生体機能分野〉の2分野17科目で構成する。医療技術科学専攻では、専門領域ごとに特論・演習を配置し、多様な専門領域に通じていることによって、総合力として医療技術科学の専門性が高められると考えることから研究しようとする領域については4単位以上、それ以外の専門科目（選択）から4単位以上履修することとする。
- 特論ではその専門領域における最新の知見や検査法について教授し、演習では学生による文献読解のプレゼンテーション、討論あるいは実験や模擬研究等を通して専門性の深化、研究計画へとつなげていく。
- 特別研究では、指導教員による個別指導を重ねながら、研究課題の探究から研究計画立案、予備実験等を含む研究の実施、中間報告会、論文作成、最終発表会と口頭試問のプロセスを経ることとし、これらを通して研究力の修得を図る。
- 2年次には研究が中心となるよう1年次にできるだけ「特別研究」以外の科目を履修し、1年次後期からはそれと並行して研究計画に取り組めるよう履修指導を行う。長期履修の場合も選択する研究領域科目及び研究方法に関わる科目を履修期間の前半に履修し、系統的にリサーチワークが行えるよう履修指導を行う。

アドミッション・ポリシー〈入学者受け入れ方針〉

研究科共通項目に加えて、医療技術科学専攻は以下のような人を求めます。

- 臨床検査を主とする医療技術科学分野の研究基礎能力の獲得を志す人
- 臨床検査分野の高度な専門知識と技術の修得を目指している人

助産学専攻科

Graduate Program in Midwifery

1年制
定員12名

▲助産学専攻科の詳細情報はこちら



取得可能な資格

助産師国家試験受験資格
受胎調節実地指導員
新生児蘇生法「専門」コース修了認定

助産師国家試験（令和3年度）
＼専攻科開設以来／
合格率 100%
（令和3年度新卒者全国平均 99.7%）

教育研究上の目的

女性のライフステージにおける助産に必要な高度な専門知識と実践力を有し、地域社会の母子保健の発展に貢献できる豊かな人間性を有する助産師の育成を教育研究上の目的とする。（学則第48条）

教育目標

高度な実践能力を獲得し、あらゆるライフステージにある女性と家族を支援することのできる専門性の高い、自立した助産師を育成します。

※助産学専攻科に入学するためには、大学卒業等の資格を有し、かつ看護師免許を有するかまたは看護師国家試験受験資格を有することが必要です。



助産学専攻科長からのメッセージ



専攻科長　中西　純子

助産学専攻科は学部での選択制の教育課程から、看護師資格と学士の取得の上に積み重ねる1年間の教育課程として平成24年に開設しました。これにより、1年間、助産学の学修にのみ専念できる環境が整い、到達レベルの高い助産師育成につながっています。

助産師を目指す人のなかには、小さい頃からの夢として助産師を目指してきた人、看護師となる学修の過程であるいは看護師として就業するなかで助産師に動機づけられた人たちがいますが、いずれも強い意志をもって入学してこられます。そのため、本学における助産師の国家試験合格率は専攻科開設以来100%合格を続けています。また、1年間の短い時間のなかで昼夜を問わない10例以上の分娩介助や妊娠期から分娩まで継続して関わる実習には覚悟が必要ですが、それだけにやりきった先の達成感は大きく、それを教員、臨地実習施設の指導者、協力していただく妊産褥婦の方たちとともに喜び合える感動が待っています。

本学は短期大学の時代から愛媛県内では唯一の助産師養成機関として県内外に多くの助産師を輩出してきました。本学専攻科は、命の誕生に寄り添う感動と確かな実践力を獲得したい人の要望に応えます。1年間、一緒に駆け抜けてみませんか。

主な実習施設

愛媛県立中央病院
愛媛県立今治病院
松山赤十字病院
四国中央病院
ばらのいずみクリニック
つばきウイメンズクリニック
矢野産婦人科
まつやま助産院

3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー〈修了認定・学位授与の方針〉

修業すべき年数以上在学し、卒業に必要な所定の単位を修得していること。さらに、教育目標に照らし、以下の能力を修得できていることを要件とします。

- 生命の尊厳を基盤とし、助産師としての倫理観と責任感を持ち、対象を尊重することができる。
- 助産師としての役割や責務を自覚し、助産師であることに誇りを持つことができる。
- 女性のリプロダクティブヘルス/ライツに関する健康課題について、広い視野から支援することができる。
- マタニティサイクルにある対象の個別性を尊重し、対象のもつ力を最大限に発揮できる基本的な助産診断及び助産技術を獲得できる。
- 女性が安心して子どもを産み育てられる環境を整えるために、地域と密着した子育て支援活動が理解できる。
- 周産期医療の高度化や多様化する価値観、時代のニーズに柔軟な対応ができる能力を身につけている。
- 助産ケアの質の向上を図るために、研究的視点や科学的根拠を活用し、さらに探究する力を身につけている。




カリキュラム・ポリシー〈教育課程編成・実施の方針〉

- 知識から実践へ、そして探求へと段階的に学修を深めていきます。授業科目は「助産学基礎領域」、「助産学実践領域」　および「助産学探究領域」の3つから構成されています。まず基礎的な知識や倫理観を修得したうえで、それを基盤とした実践力を身につけ、そこから助産実践の探究へと段階的に学修を深めていけるよう、授業科目を組み立てています。
- リプロダクティブヘルスを基盤とした幅広い視野を身につけることができる科目を配置します。女性のリプロダクティブヘルス/ライツに関する健康課題について、広い視野から支援することができるよう、ウィメンズヘルスや思春期ヘルスケアなどの様々な科目を学びます。
- 母子や家族に寄り添い、多様な対象や活動の場における助産実践力を高められる授業や実習を展開します。母子やその家族のマタニティサイクル全体に継続して寄り添える助産師を育成するため、授業や実習では、常に対象を尊重した関わりを重視するとともに、妊娠期から育児期までの期間を継続事例とともに歩む1年間のプログラムとしています。また、助産師の活動の場を幅広く捉え、地域と密着した活動を実践する力を身につけるため、病院やクリニック、助産所など様々な施設で実習を行います。さらに、高度化する医療に対応する力を身につけるため、講義・実習ともに正常からハイリスクへと段階的に学びを深めます。
- 自立した助産師として自己教育力や他者と連携・協働する力を身につけるための学修方法を取り入れています。授業や実習は、学修者を主体とした方法やグループ活動、様々な体験学習を取り入れています。こうした学修方法により、専門職として自ら学び続ける姿勢や医療チームの中で連携・協働する力を身につけます。
- 授業や実習での学びを最終的に助産学研究として統合し、助産師としてのアイデンティティの確立を促します。授業では、助産の歴史や責務を深く学び、実習の場を通して自己の助産観を形成していきます。最終的には、自己の助産実践を研究的視点から深めることを通して専門職としてのアイデンティティを育てます。

以上のカリキュラムを通して、修了後は、助産師であることに誇りをもって専門職として母子保健や周産期医療に貢献できる力を身につけます。

学内演習

助産学生としての実践力を高めることができる学内演習プログラムが充実しています。


腹部触診


エコー


蘇生

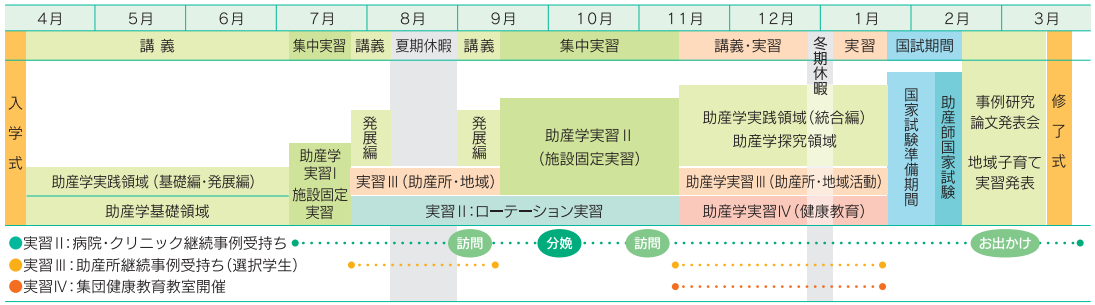
アドミッション・ポリシー〈入学者受け入れ方針〉

助産学専攻科が求める学生像は下記のとおりです。

- 生命誕生に強い関心をもち、主体的に助産学を学習できる人
- 協調性と責任感を持ち、対象に真摯に向き合える人
- 助産師として母子の健康に貢献する意志をもつ人

カリキュラム

一歩ずつステップアップしていけるよう、段階的に講義・実習をすすめていきます。
実習では、分娩介助をはじめ、妊娠期から育児期までの継続事例との関わりの中で、母子と家族の支援を学びます。
1年間をかけて、母子の成長とともに助産学生としての成長を実感できるスケジュールとなっています。



学生支援 / 授業料

学びを続けるために必要な支援も充実。目標の実現に向けて、多様なニーズに応えます。

学生支援に関する方針

本学は、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送るために必要な修学支援、生活支援について、社会情勢等に即応した適切な対応を図る。また、就職・進路支援について、学生の希望に沿った支援に加え、県内就職に向けた情報発信や卒業生へのUターン支援に取り組む。

修学支援　学生の主体的学修の促進のための支援や相談体制を維持するとともに、学修の継続に困難を抱える学生や特別な配慮を要する学生を適切に支援する。授業料の減免や奨学金等による 経済的支援の継続・拡充に努める。また、学生がグローバルな視点を養えるよう国際交流推進を支援する。

生活支援　学生が心身ともに健やかに、安全、安心で充実した学生生活を送れるよう支援する。健康管理体制の強化に努め、学生生活に関する相談体制を維持する。学生生活の安全面の支援を行い、サークル活動、自治会活動、課外活動、ボランティア活動等、自主的な活動を支援する。

就職・進路支援　学生の希望に沿った就職・進学の達成のための相談・支援体制を維持し、学生のニーズに適した就職セミナーや卒業生との交流等により、就職・進学に関する情報提供の充実を図るとともに、個別指導・助言体制を維持する。県内就職率の向上を図るため、県内医療機関の魅力の紹介に努め、県外に出た卒業生等の愛媛県へのUターン支援に取り組む。

修学支援

学生相談システム

学生生活で生じる様々な問題や悩みの解決を手助けするため、学生相談室を設置しています。学内相談員が相談にあたるほか外部カウンセラー（臨床心理士）による相談も行っています。その他各教員がオフィスアワーを設定し、どの教員でも相談に応じています。

国家試験受験への支援

各種国家資格の取得は大学生活最後の関門です。学生の自主性をもとに教職員が支援しています。学生を中心とした国家試験対策委員を設置し、ガイダンス、模擬試験情報、手続き支援、補習講義などを企画。また、模擬試験の結果をもとに担当教員が個別指導を行います。

クラス顧問システム

各学科学年に応じて必要数の教員が、大学生活に関する学生からの相談窓口を担当しています。学年進行に応じて必要なガイダンスや連絡などを行い、大学生活がスムーズに送れるように支援します。

減免制度

経済的な理由により、授業料等（入学選考料、入学料及び授業料）を納付することが困難と認められる場合、授業料等の減免、納付猶予及び分納の制度を設けています。

奨学金制度

奨学金は、成績が良好かつ経済的な理由で修学が困難な学生に、学業の継続を援助するための資金を貸し付ける制度です。
学内掲示板で随時お知らせするとともに、例年４月に奨学金説明会を開催しています。
●詳しくは https://www.jasso.go.jp 日本学生支援機構ホームページ

生活支援

ハラスメント対策

セクシャルハラスメント、アカデミックハラスメントへの対策は大学全体で取り組んでおり、被害が生じないような体制を整えています。

●学生が訴えやすいような窓口の設置
（学生相談システム参照）
●全教職員がハラスメント研修、講習を受講

防犯安全対策

本学では、新たな学生生活が、安心・安全なものとなるよう、また、学生自身が被害者にも加害者にもならないよう、様々な取り組みをしています。

●犯罪被害の防止：
犯罪被害防止教室の開催、犯罪情報の周知徹底
●交通安全指導：交通安全講習会の開催（講話・実技）

就職・進路支援

就職への支援

学生委員やクラス顧問を中心に、3・4年生を対象にガイダンスや進路セミナーを開催するほか、必要に応じて各種専門領域の教員による個別指導を行っています。また、学生ホールやホームページに就職情報コーナーを設置し、いつでも閲覧できるようにするなど、就職・進路について全学的に支援しています。卒業後も、専門職としての悩みへの相談支援や、愛媛県へのUターンの支援も行っています。

多様なニーズに対応した学生支援

本学は、「医療専門職になりたい、さらなる資格を取りたい」という学生の皆さんの夢の実現に向けて、入学から卒業までの学生生活が安全で、快適なものとなるよう、様々な側面からの支援を提供しています。卒業後も就職や転職などの相談をいつでも受け付けています。また在職中の学生が多い大学院生にも、職業生活と学生生活を両立するための相談に応じるなど、多様なニーズに対応した学生支援体制を整えています。



学生部長　山田 武司

授業料・諸費用　令和3年度実績　※金額は改定される場合があります。

区　分		保健科学部	助産学専攻科	大学院
入学選考料		17,000円	17,000円	30,000円
入学料	県内居住者※	282,000円	169,200円	282,000円
	県外居住者	423,000円	253,800円	423,000円
授業料		535,800円	535,800円	535,800円

備考　※次のいずれかに該当する者 ①入学者本人が、令和4年4月1日以前から引き続き愛媛県内に住所を有する者 ②入学者本人の配偶者又は1親等の親族が、令和4年4月1日以前から引き続き愛媛県内に住所を有する者　授業料は、前期（4月）後期（10月）に半額ずつ納付

・授業料の他に、教科書代や実習に係る諸経費等が必要になります。詳細は募集要項をご覧ください。
・臨地実習中のアルバイトは心身の疲労が蓄積することから自粛を勧めています。さらに、感染症流行下においては感染予防上、原則禁止することがあります。

卒業生の状況 就職率100%！それぞれの職場で生き生きと働く卒業生たちからのメッセージです。

就職率（就職希望者） 100% 卒業111名　就職96名＋進学9名＋継続勤務4名 ※最新の情報はHPをご覧ください。

就職状況（令和3年度）

看護学科

県　内

愛媛県（県病院）	愛媛県内
愛媛大学医学部附属病院	東温市
松山赤十字病院	松山市
愛媛県（保健師）	愛媛県内
松山市（保健師）	松山市
松前町（保健師）	松前町
大洲市（保健師）	大洲市
住友別子病院	新居浜市
四国がんセンター	松山市
国民健康保険久万高原町立病院	久万高原町
公益財団法人正光会	宇和島市

県　外

国立国際医療研究センター病院	東京都
国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター	広島県
東京医科歯科大学医学部附属病院	東京都
淀川キリスト教病院	大阪府
土谷総合病院	広島県
神戸市民病院機構神戸市立西神戸医療センター	兵庫県
国立病院機構相模原病院	神奈川県
明石市（保健師）	兵庫県
県立広島病院	広島県
千葉大学医学部附属病院	千葉県
松江赤十字病院	島根県
呉市（保健師）	広島県
順天堂大学医学部附属浦安病院	千葉県
神戸大学医学部附属病院	兵庫県
加古川市民病院機構加古川中央市民病院	兵庫県
NTT東日本関東病院	東京都
京都大学医学部附属病院	京都府
八千代会メリィホスピタル	広島県
大阪医科薬科大学病院	大阪府
日本医科大学附属病院	東京都
高知県（保健師）	高知県
有明病院	東京都
島根大学医学部附属病院	島根県
JA尾道総合病院	広島県
公立学校共済組合 関東中央病院	東京都
明理会行徳総合病院	千葉県

臨床検査学科

県　内

愛媛大学医学部附属病院	東温市
松山赤十字病院	松山市
住友別子病院	新居浜市
放射線第一病院	今治市
愛媛県総合保健協会	松山市
市立宇和島病院	宇和島市
はらだ脳神経外科	松山市
順風会健診センター	松山市
おおぞら病院	松山市
つばきウイメンズクリニック	松山市

県　外

国立病院機構北海道東北グループ	宮城県
国立病院機構中国四国グループ	広島県
栗山会 飯田病院	長野県
武市クリニック	広島県
小郡第一総合病院	山口県
枚方公済病院	大阪府
尚豊会みたき健診クリニック	三重県
大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院	岡山県
北松中央病院	長崎県
島根県環境保健公社	島根県
株式会社ファルコバイオシステムズ	京都府
株式会社セントラル医学検査研究所	茨城県

助産学専攻科

県　内

愛媛県（県病院）	愛媛県内
松山赤十字病院	松山市
四国中央病院	四国中央市

県　外

大阪大学医学部附属病院	大阪府
国立成育医療研究センター	東京都
白鳳会赤穂中央病院	兵庫県
高松赤十字病院	香川県
済生会兵庫県病院	兵庫県

進学 看護学科

県　内		県　外			
愛媛県立医療技術大学助産学専攻科	愛媛県	岡山大学養護教諭特別別科	岡山県	熊本大学養護教諭特別別科	熊本県

卒業生からのメッセージ



看護師
愛媛県立中央病院 勤務

平成28年度
看護学科 卒業

今津 恭子さん

就職して1年目は不安なことだらけでしたが、同じ医技大出身の同期と励まし合い、時折実習などで病院にいらっしゃる大学の先生方にも声をかけていただきながら、今では日々やりがいを感じています。大学生活での経験や学んだことも、支えのひとつとなっています。循環器センターで働く中で、まだまだ迷うこともたくさんありますが、先輩や医師、理学療法士など、他の医療スタッフと相談、連携しながら、患者さんが安心安全に療養できるよう奮闘しています。



臨床検査技師
済生会松山病院 勤務

平成14年度
臨床検査学科 卒業

渡辺 智昭さん

「白血病」をニュース等で聞いたことがあると思います。この病気は臨床検査技師が顕微鏡を使って白血病細胞を見つけ診断されるケースが多いです。血液検査が重要な役割を担っています。ただし、白血病細胞を見つけることは簡単ではありません。知識と技術が不可欠です。そのため日々、「心を燃やして」研鑽しています。みなさんも将来出会う患者さんを想像し、勉強を頑張ってください。



保健師
愛媛県庁
健康増進課 勤務

平成28年度
看護学科 卒業

白石 美沙希さん

保健所では住民の健康面や生活面の困りごとに対し、電話相談や家庭訪問をして、相談者の普段の生活や思いを把握し、解決策を一緒に考えるように心がけました。今は県庁での仕事ですが、様々な地域で多くの関係者や住民と出会い、そこからの学びが自分自身の成長に繋がっていると感じます。



助産師
つばきウイメンズ
クリニック 勤務

平成30年度
助産学専攻科 卒業

山﨑 詩月さん

私の勤めるつばきウイメンズクリニックは「地域に根差した専門性の高いかかりつけの産婦人科」を理念とし、上質なホスピタリティによる「心地よい診療」を目指しています。助産師として助産師外来や妊婦健診、分娩介助や産後指導などを行っています。先輩方から親身なご指導をいただきながら多くのことを経験し学んでいます。一つ一つの経験を振り返りながら「またここで産みたい」と思われるような助産師になりたいと思います。



大学院
愛媛県立医療技術大学
助教

令和元年度
大学院 看護学専攻 修了

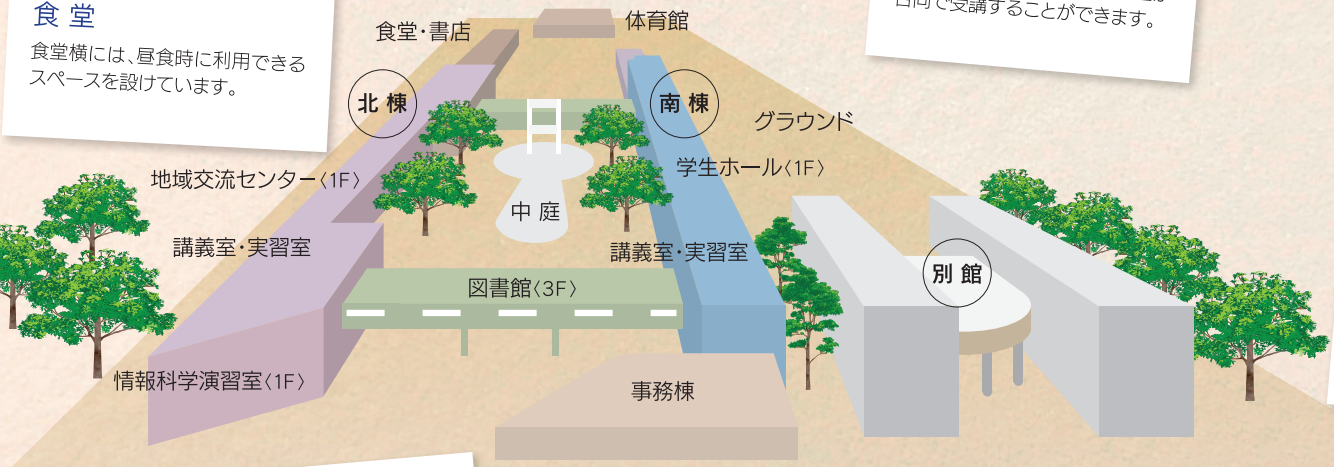
仲田 琴美さん

病院で看護師として働く中で大学院に進学したことで、自身が実践してきた看護の意味を深めることができました。仕事との両立は大変な部分もありますが、それ以上に、同じ「看護」であっても様々な専門分野で働く方々に出会い、久々にできた同級生と共に、励まし合いながら学べたことは貴重な財産です。縁あって、現在は教員として母校に戻ってきました。学部、大学院を通して学んだ看護の深さを多くの人に伝えられる存在でありたいと思います。

Campus Map

キャンパス
マップ

自然に恵まれたキャンパスで、
のびのびと充実した学生生活がおくれるよう
施設・設備を備えています。





食 堂

食堂横には、昼食時に利用できるスペースを設けています。



体育館

スポーツの授業で利用するほかサークル活動でも利用できます。



大講義室

看護学科、臨床検査学科の学生が合同で受講することができます。



臨床化学実験室

疾患の診断に有用なデータを得るため、生体中の物質の分析・測定方法を学びます。



階段講義室

150インチのプロジェクターを備えた183名収容の階段教室。大人数で受講する授業やAV機器を使う授業に使用します。



基礎看護学実習室

ベッドメーキングや血圧測定、採血など基礎的な看護技術を学びます。



情報科学演習室

最新のパソコンを設置して、インターネットに常時接続。



中 庭

豊かな緑に囲まれ、学生の憩いの場となっています。



学生ホール

自動販売機、求人案内のコーナーがあります。団らん、情報交換の場に利用しています。



臨床生理学実習室

脳波計や超音波診断装置などで生体の生理機能の変化を学びます。



成人看護学実習室

成人期にある人の治療・検査に伴う看護や療養生活を支える看護について学びます。

図書館

県内随一の専門資料が揃った知識と情報の宝庫。また個室学習スペースやラーニングコモンズも充実しており、学生にとっては恵まれた環境が整っています。愛媛県内の他大学や一般の方々、研究者の方々にも学びの場として活用されています。










図書館長
草薙 康城

大学だけでなく地域からも愛される図書館として

図書館は、学生や教員の教育や研究活動を支援するための図書、雑誌、学術情報データベースおよび電子ジャーナルをそろえています。看護学・臨床検査学・医療に関する資料は県内随一であり、本学学生・教職員だけでなく愛媛県内の他大学の学生、看護師、臨床検査技師の人たちや一般の人たちも医療の情報を収集するために利用しています。平日は午前9時から午後9時まで、土曜日も午前9時から午後5時まで開館しており、館内の学習スペースやラーニングコモンズは、学生や教員の勉強や研究活動のために活用されています。

地域交流センター

地域活動への参加や外部講師によるセミナーによるスキルアップなど、学外との繋がりが持てる場を提供しています。






地域に開かれた大学を目指す活動拠点



地域交流センター長
越智 百枝

地域交流センターは、すべての県民の保健・医療・福祉の増進に寄与することを目的に活動しており、本年で20年目を迎えました。この目的を実現するために、①人材育成、②調査研究、③相談支援、④情報発信の4つの機能を持ち、本学の施設・設備や教職員、学生ボランティア等の人材を活用した事業を展開しています。

Campus Calendar

キャンパス
カレンダー












4 April

入学式
前期授業開始
新入生ガイダンス

5 May

健康診断
交通安全講習会
進路セミナー
内科検診

6 June

開学記念日
犯罪被害防止教室
ホームカミングデー

7 July

8 August

前期試験
夏季休業
オープンキャンパス（第1回）

9 September

10 October

後期授業開始
学生祭（EPU Festival）
オープンキャンパス（第2回）
防災訓練

11 November







12 December
冬季休業

1 January

2 February
後期試験
看護師・保健師・助産師国家試験
臨床検査技師国家試験

3 March
卒業式・修了式
春季休業

Circle

サークル紹介

楽しい学生生活の中で
個性を育んでいきます!

バドミントンサークル
Laughegg(バレーボールサークル)
Ankle breaker(バスケットボールサークル)
dottore(フットサルサークル)
MEDIC(テニスサークル)
VIVO(ダンスサークル)
SAKURA(茶道サークル)
sign(手話サークル)
STSサークル(障がい児ボランティア)
peer(性教育サークル)
医技タット(災害ボランティア)
学生赤十字奉仕団
吹奏楽団
軽音楽サークル






Student Cafeteria

学生食堂

学生たちの毎日を食で支える強い味方。栄養や好みに
配慮したおいしい食事が多彩に揃っています。





入試情報 / オープンキャンパス

8·10月にオープンキャンパスを開催します。夢に向かってチャレンジしましょう。

入学試験情報

令和4年度 入学試験実施状況 ※最新の情報はHPをご覧ください。

学部学科または専攻科の別		定員	募集人数 A		出願者 B	受験者 C	合格者 D	入学者 E	出願倍率 (B/A)	受験倍率 (C/A)	合格倍率 (C/D)
保健科学部	看護学科	75	前　期	42	124	101	46	45	3.0	2.4	2.2
			後　期	5	157	37	6	5	31.4	7.4	6.2
			推　薦	26	87	87	25	25	3.3	3.3	3.5
			社会人	2	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
			計	75	368	225	77	75	4.9	3.0	2.9
	臨床検査学科	25	前　期	15	35	29	17	15	2.3	1.9	1.7
			推　薦	10	31	31	10	10	3.1	3.1	3.1
			計	25	66	60	27	25	2.6	2.4	2.2
	学部合計	100	前　期	57	159	130	63	60	2.8	2.3	2.1
			後　期	5	157	37	6	5	31.4	7.4	6.2
			推　薦	36	118	118	35	35	3.3	3.3	3.4
			社会人	2	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
			計	100	434	285	104	100	4.3	2.9	2.7
助産学専攻科 ※令和5年度から定員が変更になっています。入試要項をご確認ください。		15	本学枠	4	10	10	4	4	2.5	2.5	2.5
			県内枠	4	21	17	4	4	5.3	4.3	4.3
			一般枠	7	38	26	8	7	5.4	3.7	3.3
			計	15	69	53	16	15	4.6	3.5	3.3
保健医療学研究科	看護学専攻	5	一般／社会人	5	3	3	3	3	0.6	0.6	1.0
	医療技術科学専攻	3	一般／社会人	3	1	1	1	1	0.3	0.3	1.0
	大学院合計	8	計	8	4	4	4	4	0.5	0.5	1.0

インターネット出願を実施しています！

- 願書の取り寄せ不要
- 24時間いつでも出願可能
- スマホ·タブレットからも出願可能
- 入学選考料の支払い方法が選択可能

※インターネット出願の導入に伴い、紙の学生募集要項は配布せず、本学ウェブサイトで公表しますので、ご注意ください。

ミニオープンキャンパス・大学見学について

新型コロナウイルス等の感染状況により、少人数来場型、県内者限定等の対策をとる場合があります。学生によるキャンパスツアー·学生相談、教職員による進学相談を予定しています。
日程によりオンライン中継も行いますので、県外の方もご参加いただけます。
詳細は大学ホームページで確認してください。

大学見学をご希望の方は、2週間前までに事務局にご相談ください。日程調整ができれば、演習や授業をご覧いただくことも可能です。平日であれば夏休み·冬休み期間中でも対応しています。

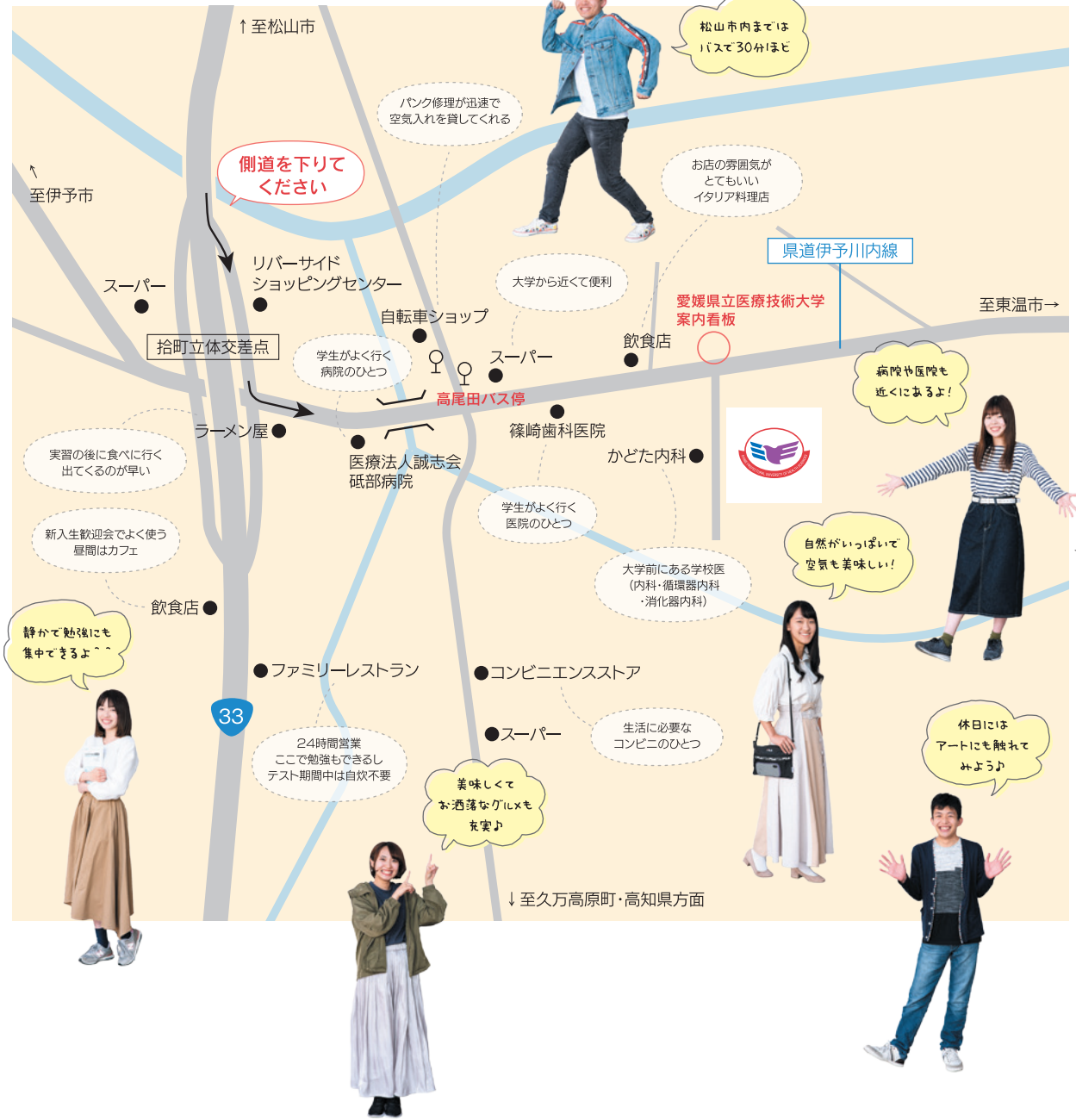




●お問い合わせ／教務学生グループ　Tel.089-958-2111

アクセス

松山市内から約30分。自然豊かで閑静な場所にあり、学びに集中できる環境があります。







とべ動物園

しろくまピースの他にも、人気者がたくさん。豊かな自然に囲まれたデートスポットでもあり、憩いの場所。



エミフルMASAKI

一日中遊べるショッピングモール。ファッションからグルメ、映画館まで200以上のショップが集合。



大街道・銀天街

松山市中心部の商店街。バスや電車のアクセスもよく、いろんな店が並んでいるのでぶらぶら歩きが楽しい。

アクセス情報

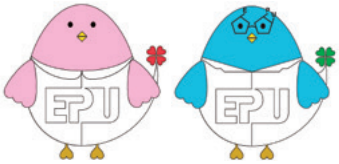
松山観光港	連絡バス＋郊外電車 約40分	松山市駅	伊予鉄バス 森松・砥部線 砥部方面行 約30分	高尾田バス停	徒歩 約10分	愛媛県立医療技術大学
三津浜港	伊予鉄バス約30分					
松山空港	伊予鉄バス約20分					
JR松山駅	市内電車約10分					
松山自動車道	松山自動車道松山ICで下り、国道33号を高知、久万高原方面に右折。約3km南の砥部町抬町立体交差点で、県道23号伊予川内線を東温方向に左折。約1km直進し、愛媛県立医療技術大学の案内看板を右折すぐ。					



公立大学法人

愛媛県立医療技術大学

〒791-2101 愛媛県伊予郡砥部町高尾田543番地
TEL089-958-2111　FAX089-958-2177
https://www.epu.ac.jp/



トッピー　イッピー

愛媛県立医療技術大学マスコットキャラクター